

令和2年第1回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに令和2年第1回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。令和2年度の当初予算案をはじめとする関係議案の御審議をお願いするにあたり、市政運営の基本方針及び予算編成方針並びに主要施策について御説明申し上げ、議員並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたく存じます。

(令和2年度市政運営に当たっての基本方針)

市政運営の基本方針について申し上げます。新たな時代のまちづくりを進めるため、令和元年度は、市民の皆様と共に、第2次総合計画後期基本計画の策定に着手するとともに、リニアまちづくり基盤整備計画、観光ビジョン、ICT活用推進計画などの策定に取り組んでまいりました。令和2年度は、これらを踏まえ、引き続き「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本柱で進めてまいります。

はじめに「はたらく」については、新たに設立した地域商社「一般社団法人ジバスクラム恵那」と連携し、観光業の育成、もうかる農林業への転換、ビジネス支援の強化を3つの柱に、販売促進や人材育成、商品開発を支援してまいります。

また、本社機能移転や企業誘致に向けた取組も引き続き進めてまいります。

観光資源の磨き上げによる誘客促進を図り、販路拡大につなげるため、道の駅そばの郷らっせいみさとのリニューアル工事を行ってまいります。

「たべる」については、恵那市たべる推進協議会からの提案や恵那たべるプロジェクトの事業に基づき、食を通じ、健康づくりや農産物の地産地消、生産者の所得向上に取り組んでまいります。注目されている発酵食品に目を向け、料理教室の開催やレシピの募集、健幸フェスタでのPRとともに、本市の特産品である栗やトマトを使った新しい加工品の研究や商品開発なども行ってまいります。

恵那市学校給食センターでは、令和4年度から開始予定の食物アレルギー対応給食を提供するため、施設整備に向けた設計と関連工事を進めてまいります。

「くらす」については、設置から20年以上経過している、介護老人福祉施設明日香苑と福寿苑の大規模改修を行うとともに、地域医療や救急体制を充実させるため、市立恵那病院の職員宿舎として8戸の集合住宅を建設してまいります。

リニア中央新幹線開業までに、リニアを生かしたまちづくりを進めるため、市街地環状道路の調査や検討をはじめ、国道19号瑞浪恵那道路に関連し、武並駅周辺整備調査などの基盤整備に取り組んでまいります。

高齢化が進み運転免許返納が叫ばれる中、自主運行バスや地域有償運送など、公共交通の在り方を総合的に検討してまいります。

「まなぶ」については、学びの場である小中学校の施設整備を計画的に進めるため、三郷小学校の校舎と屋内運動場の大規模改修に向けた設計を行うとともに、明智小学校のプール改修、恵那西中学校の防球ネットの取替を実施してまいります。

避難所でもある市内小中学校の環境改善を進めるため、全22校のトイレの洋式化の設計も行ってまいります。

併せて、国が進めるGIGAスクール構想の実現に向け、高速ネットワークの整備と小中学生1人1台のタブレット型パソコンを3年間で配備するとともに、市独自事業として、様々なアプリを導入し、個別最適化学習を支援してまいります。

（令和2年度予算編成方針）

続きまして、令和2年度の予算編成方針及び予算総額について御説明申し上げます。

政府は、新経済・財政再生計画の下、歳出改革の取組の継続により経済再生と財政健全化を両立する総額10兆6,580億円の令和2年度一般会計予算案を閣議決定しました。その中で地方の安定的な財政運営に必要となる地方交付税は、1兆6,882億円と前年度比較4,073億円増加し、一般財源総額については、6兆3,318億円と前年度を7,246億円上回る額を確保する措置が講じられています。

こうした中、本市の令和2年度予算は、限られた財源を有効に活用し、第2次総合計画前期基本計画の最終年として、計画を着実に進めるための予算を確保するとともに、オリンピック事前キャンプ、世界ラリー選手権、国体などの大規模イベント開催に係る予算、市民の誰もが住み慣れた地域で、年齢や性別に関わりなく元気に働き続け、安心して住み続けることができるまちを目指した予算を編成しました。

（令和2年度予算総額）

令和2年度の予算総額について御説明申し上げます。

一般会計の歳入については、市税では、市民税が納税義務者数の増加などにより前年度比較7,340万円（2.7%）の増収、固定資産税は、正家第二土地区画整理事業などにより9,250万円（2.6%）の増収、軽自動車税は、環境性能割の導入により2,550万円（13.0%）の増収を見込むなど全体では、1億9,660万円（2.8%）増収の総額7億2,790万円を見込んでいます。また、消費税率の引上げに伴い、地方消費税交付金を1億6,510万円（17.7%）増収の10億9,590万円と見込み、地方交付税は、合併から15年間続いた特例割増措置が終了する一方で、幼児教育無償化や地域社会再生事業の創設などによる基準財政需要額の増加を見込み、1億円（1.2%）増の8億2億円を計上しました。

歳出については、地方債残高を減らして財政の健全化を目指すため、新たに地方債の繰上償還金を2億円計上するとともに、公共施設整備基金の積立金を2億3,793万2千円計上するなど、全体では、前年度比較7千万円（0.3%）増の2億5,562万円の予算としました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、前年度実績から保険給付費が減少

すると見込み、前年度比較1億2,060万円(▲2.2%)減の52億8,540万円とし、介護保険事業特別会計は、2,450万円(▲0.4%)減の57億9,690万円、全体では、農業集落排水事業特別会計及び公共下水道事業特別会計の企業会計への移行による減額などにより18億460万円(▲13.2%)減の総額118億3,120万円の予算としました。

企業会計では、下水道事業会計が加わったことにより、下水道施設の固定資産減価償却費の計上などに伴い、全体で前年度比較29億3,140万円(44.4%)増の95億2,670万円の予算としました。

<令和2年度の予算総額>

○一般会計	…	255億6,000万円	(前年度比較	7,000万円)
○特別会計	…	118億3,120万円	(前年度比較	▲18億460万円)
○企業会計	…	95億2,670万円	(前年度比較	29億3,140万円)
合計		469億1,790万円	(前年度比較	11億9,680万円)

(令和2年度の主要施策)

それでは、令和2年度の主要な施策及び事業について、第2次恵那市総合計画の7つの基本目標に沿って説明させていただきます。

(1.安心して暮らす)

基本目標の第1は、「安心して暮らす」です。

子育て世代が安心して働くために、大井、明智小学校区の放課後児童クラブをそれぞれ2クラブから3クラブへ拡大し、家庭に代わる居場所を提供してまいります。

不足がちな保育教諭の確保のため、保育教諭修学資金貸付制度を創設するとともに、日常的に医療が必要な幼児の就園を支援するため、こども園に看護師を配置してまいります。串原こども園では、未満児用トイレの改修に併せて洋式化も進めてまいります。

妊娠から産後まで切れ目のない支援の一環として、新生児聴覚検査費用を助成してまいります。2人に1人は、がんを患うと言われる中、がんによる死亡抑制を図るため、がんへの理解と知識の普及啓発やチャリティーイベントへの支援、小児がん患者のワクチン再接種などを助成してまいります。

高齢者への生活支援や相談体制を強化するため、恵南地域包括支援センターを設置するとともに、定期巡回型の笠周高齢者相談窓口を開設し、きめ細やかに対応してまいります。

スマートフォンなどを活用して、個人の登録情報に基づき、ニーズに合った情報提供や、施設、市民講座などの申込手続が可能な住民生活総合支援アプリを導入してまいります。また、議場の一部をバリアフリー化し、誰もが傍聴できる環境を整えるなど、市民サービスの向上に努めてまいります。

(2. 生命と財産を守る)

基本目標の第2は、「生命と財産を守る」です。

頻発する大規模災害を踏まえ、国土強靱化地域計画に基づき、避難所に指定している大井第二小学校と串原コミュニティセンターにおいて急傾斜地対策事業を実施するとともに、三郷コミュニティセンターの大規模改修に向けた設計を行い、避難所や防災拠点の環境改善を進めてまいります。

消防団を中核とした地域防災力の充実を図るため、東野分団と明智分団の老朽化したポンプ自動車2台を更新するとともに、上矢作分団第1部の3つの器具庫を1つに集約、新設し、機動力の強化と活動しやすい環境を整備してまいります。

(3. まちの魅力を高める)

基本目標の第3は、「まちの魅力を高める」です。

地域の歴史的・文化的資源を適切に保存・活用していくため、国史跡正家廃寺跡の史跡公園化に向けた整備計画の策定や、市指定文化財長屋門の移築保存を行うとともに、地芝居小屋の五毛座と宮盛座の保存活用への支援や、市内出身の大歌舞伎役者による歌舞伎講座を開催してまいります。

都市計画に基づいたまちづくりを推進するため、恵那駅前惣の神線の整備を進めるとともに、市民意識調査でニーズが高い公園整備については、利用者の意見を踏まえ、大井町の中央公園改修に向けた設計を実施してまいります。

(4. 便利に暮らす)

基本目標の第4は、「便利に暮らす」です。

国道19号瑞浪恵那道路や新丸山ダム建設工事に伴う付替国道418号の早期完成に向け、引き続き積極的に関係機関へ働き掛けてまいります。

県事業では、国道418号（上矢作町下川原工区）、恵那八百津線（飯地工区）、豊田明智線（明智町大小屋工区）、中野方七宗線（坂折工区）など、道路改良事業の促進を図り、市事業では、長島町130号線、飯地中野方線、上矢作町13号線など、主要な道路整備を進めてまいります。

台風や大雪に伴う倒木による停電を予防するため、中部電力パワーグリッド株式会社様と協力してライフライン保全対策事業を進めてまいります。

下水道事業では、経営効率の向上を図るため、地方公営企業会計に移行するとともに、維持管理経費の低減を図るため、不明水調査に取り組んでまいります。

また、災害時に活用できるマンホールトイレを大井小学校に20基、武並コミュニティセンターに8基整備してまいります。

(5. いきいきと暮らす)

基本目標の第5は、「いきいきと暮らす」です。

60歳以上の方が参加する「ねんりんピック岐阜2020」マレットゴルフ競技

を11月に開催するとともに、令和3年1月に本市で開催する冬季国体スピードスケート競技会を踏まえ、強化選手の育成に取り組んでまいります。

小中学校の教育活動を充実させ、活性化するため、地域の皆様と一緒に取り組むコミュニティ・スクール事業を引き続き実施してまいります。

(6. みんなでまちをつくる)

基本目標の第6は、「みんなでまちをつくる」です。

移住定住人口の拡大や空き家の掘り起こしを行うため、地域が関わる空き家バンク登録の報奨金制度を創設するとともに、ふるさと応援寄付金を活用し、地域のまちづくりを支援するプロジェクト支援事業にも取り組んでまいります。

女性活躍推進や食の情報発信拠点としてバロー恵那ショッピングセンターに出張所を開設し、女性のライフステージに応じた相談やセミナー、料理教室などを開催するとともに、住民票などを発行する窓口も設置してまいります。

(7. まちを元気にする)

基本目標の第7は、「まちを元気にする」です。

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に、明智光秀公ゆかりの地を巡り、グルメや温泉を楽しむウォーキングなどを開催するとともに、WRC世界ラリー選手権を通じた地域振興に取り組んでまいります。

本市の魅力国内外へ発信するため、台湾を含めたプロモーションを行うとともに、観光ビジョンに基づき、新たな商品開発にも取り組むなど、恵那らしさを追求した稼ぐ観光地づくりを目指してまいります。

農業では、所得向上を図るため、引き続き、もうかる農業プロジェクトを推進するとともに、作業の省力化を図るためのスマート農業の実証実験や導入支援を行ってまいります。

持続可能な社会づくりと、地域振興や資源の市内循環のため、地域常設資源回収拠点を新たに3か所設置するとともに、「雑がみ」に1キロ当たり10円を助成してまいります。

以上、令和2年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。第2次総合計画の着実な実現を目指すとともに、特に「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」に重点を置き、新しい恵那市の実現を目指してまいります。

議員並びに市民の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

(令和2年第1回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計47件です。

議第1号及び議第2号は、条例の制定について、議第3号から議第15号までは、

条例の一部改正について、議第16号は、条例の廃止について、議第17号は、字の区域の変更について、議第18号から議第20号までは、指定管理者の指定について、議第21号は、財産の無償譲渡について、議第22号から議第25号までは、東濃5市の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約の変更について、議第26号は、土岐川防災ダム一部事務組合理約の変更についてであります。

議第27号から議第30号までの人権擁護委員の候補者の推薦については、現委員の任期満了に伴うものです。現委員である堀恒夫ほりつねお氏の任期満了に伴い、新たに堀昭芳あきよし氏を、現委員である鈴木雅博すずきまさひろ氏の任期満了に伴い、新たに桜井正之さくらいまさゆき氏を、現委員である鈴木八枝子すずむらやえこ氏の任期満了に伴い、再び同氏を、現委員である館林繁伸たてばやしげのぶ氏の任期満了に伴い、新たに後藤次哉ごとうつぐや氏をそれぞれ推薦することについて、議会の意見をお願いするものです。

議第31号から議第37号までは、令和元年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で13億8,501万円の増額補正を行い、一般会計の歳入歳出総額を281億2,504万8千円とし、特別会計補正予算では、全体で4,263万円の減額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を138億1,903万円とするものであります。企業会計では、全体で8,129万5千円の減額補正を行い、企業会計支出総額を64億7,769万円とするものです。

議第38号から議第47号までは、前述した主要施策に基づく令和2年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計に係る予算について議決をお願いするものであります。

以上で提出議案の説明を終わります。なお、詳細につきましては、担当部長などから説明をさせますのでよろしく御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年2月26日

恵那市長 小坂 喬峰